

令和3年度第1回福祉系大学経営者協議会 就職担当者勉強会が開催されました

令和3年11月26日(金)に「令和3年度第1回福祉系大学経営者協議会 就職担当者勉強会」をZOOMによるオンライン形式で開催し、14大学25名にご参加いただきました。

まずは、全国社会福祉協議会研修委員会専門委員 社会福祉法人同愛会理事長 菊地月香様に話題提供①として「福祉人材確保の現状と課題—採用する側の現状と課題—」と題して、お話しいただきました。社会福祉法人で働く新人職員の現状や福祉人材の確保から育成、定着に至るまでの取り組みなどを様々なデータに基づきご講話いただきました。

次に、一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長 岩本恭典様に話題提供②として「学生のニーズや福祉に対するイメージの変化」と題して、お話しいただきました。FACE to FUKUSHIが行っている取り組み、「福祉を志す21就活生の就活動向レポート」から見える学生の現状をお話しいただき、今後大学がすべき取り組みなどをご講話いただきました。

次に、「福祉現場への就職を希望する学生へ意識して指導していること」「福祉を学ぶ学生の進路選択の状況」の2点について参加者全員で情報交換を行いました。ミスマッチが起きないように情報収集をするよう指導する、悩んでいる学生には背中を押してまず見学などに行ってみよう促す、求人票をしっかりと確認するよう指導する、様々な分野に就職した卒業生を授業等に招いて話をしてもらい、そのほか福祉関係への就職状況や説明会・見学会への出席率など、各大学の現状や取り組みについて共有しました。

前回に引き続きオンライン形式での開催となりました。多くの方にご参加いただき、限られた時間ではありましたが、福祉系大学の現状と取り組みについて情報共有でき、大変有意義な勉強会となりました。